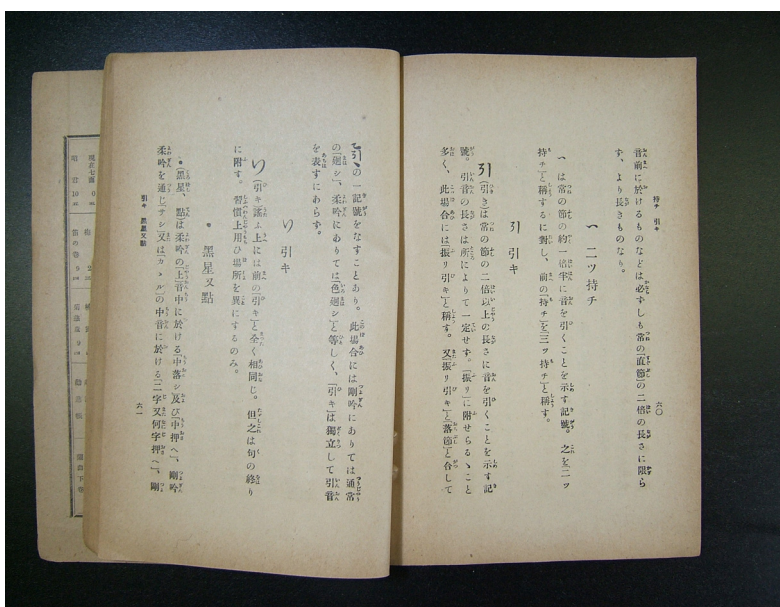


観世流改訂本刊行会 『観世流謡曲節附解説』

旧来の謡本の記号の大改訂をおこなった観世流大正版改訂本の、節附や頭注等を説明する本。序説につづき、順位分類、季、役、舞及び働、囃子、その次に拍子と題して、謡本の間や謡い出しの指示等、詳しい説明がなされる。その説明の後に、謡曲組織の各部、音階等の説明が続く。拍子の説明が最初の方におかれているのは、拍子について厳密な改訂がほどこされていることの自負の現れでもあろう。音階という用語の選択もモダンである。もちろん、節の記号の説明に本の大部分が費やされている。



標題 内題…観世流謡曲節附解説

標題紙…観世流謡曲節附解説 全

奥附…

その他…観世流謡曲節附解説（目次・巻末・表紙）

著者 奥附…観世流改訂本刊行会

その他の場所…観世流改訂本刊行会編輯部（標題紙・巻頭）

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…観世流改訂本刊行会

出版年…大正10（1921）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…九九頁

寸法…19×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 土居源太郎発行（奥附）。